

近代英語協会第40回大会

日時：2023年6月24日（土）

場所：関西外国語大学6号館4階 ICCホール

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1

TEL 072-805-2801 内線 2605 または 2607（6号館1階教職教育センター事務室）

受付開始 9:05

開会の辞 9:45～9:50

会長 中村不二夫（関西外国語大学教授）

歓迎のご挨拶 9:50～9:55

関西外国語大学学長 大庭幸男

シンポジウム 10:00～12:00

「英語史の事実から言語理論を検証する—通時的に妥当な理論の構築を目指して」

司会

島根大学教授 縄田裕幸

講師 「Dvandva型等位複合語の生産性についての第3の仮説」

静岡県立大学教授 長野明子

講師 「談話階層性と奇態格主語の認可—パラメーター階層理論の検証」

島根大学教授 縄田裕幸

講師 「(助) 動詞連鎖構造の語順変化について」

日本大学教授 保坂道雄

昼食 12:00～12:50

総会 12:50～13:15

次期会長 決算報告 顕彰 『近代英語協会研究叢書』第2巻原稿募集ほか

研究発表

第一部 13:15～14:35

司会：中山匡美（神奈川大学）

1. 「*Pamela* と *Clarissa* における *say I* に関する一考察」

広島大学大学院生 門永 望

2. 「Pseudo-Elizabethan Styles in Modern Shakespearean Parodies」

関西大学准教授 野々宮鮎美

第二部 14:45～16:05

司会：川端朋広（愛知大学）

1. 「英語発音の変異・変化と英和辞典の発音表記—『ジーニアス英和辞典』を中心に」

桃山学院大学准教授 南條健助

2. 「Come+補語と go+補語に関して」

兵庫県立大学名誉教授 友繁義典

第三部 16:15～17:35

司会：秋元実治（青山学院大学名誉教授）

1. 「不定詞を補文に取る使役動詞 *have* の発達と不定詞補文における選

択制限の確立時期について」

日本大学助手 村岡宗一郎

2. 「英語の解釈的進行形用法の発生について」

奈良教育大学教授 米倉陽子

特別講演 17:45～18:45

司会：中川 憲（安田女子大学名誉教授）

「G. Chaucer が近・現代英語に遺したもの—英語の詩的資源の発見と

その最大限の活用」

広島大学名誉教授 中尾佳行

閉会の辞 18:45～18:50

事務局長 前田 満（愛知学院大学教授）